

事業コード	H17-建-継-18		区 分	○ 国庫補助 ● 県単独
事業名	県単河川改修事業		部局課室名	建設交通部 河川砂防課
事業種別	河川改修		班 名	河川・海岸・防災班 (tel) 018-860-2516
路線名等	一級河川 頭無川		担当課長名	佐々木 卓郎
箇所名	横手市前郷		担当者名	主幹(兼) 班長 秋元 良三
総合計画との関連	政策コード	C	政 策 名	快適で安全な生活を支える環境づくり
	施策コード	02	施 策 名	災害に強い県土づくり
	指標コード	06	施策目標(指標)名	河川整備率

1. 事業の概要

事業期間	H12 ~ H20 (9 年)		総事業費	11.0億円	国庫補助率	
事業規模	計画延長L=694m 計画高水流量30m3/s					
事業の立案に至る背景	頭無川は横手市の市街地を横断している一級河川である。頭無川は河川断面狭小になっており、平成10年7月の集中豪雨により床上浸水2戸、床下浸水31戸等の水害を受けた。また、平鹿総合病院が河川改修計画地の隣接地に移転することから、これを基に地元より強い要望を受け河川改修事業として整備するものである。					
事業目的	河川改修及び遊水池の設置により流下能力を向上させ、流入支川の排水不良の解消、浸水被害の軽減を図る。 河川空間を活用し、環境や景観に配慮した整備を行う。					
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)			計 画 時	評 価 時	増 減	理 由 等
	事業費		1,100,000	1,100,000	0	
	経費 内訳	工事費	715,894	715,894	0	
		用補費	311,220	311,220	0	
		その他	72,886	72,886	0	
	財源 内訳	国庫補助	0	0	0	
		県 債	1,100,000	1,100,000	0	
その他		0	0	0		
	一般財源	0	0	0		
事業内容	遊水池、河道整備		遊水池、河道整備			
事業の進捗状況	全体事業費 1,100百万円 H16年度迄事業費 538百万円 進捗率 48.9%					
事業推進上の課題	特になし					
関連する計画等	上位計画である「あきた21総合計画」の中で河川の氾濫から人命や財産を守り、安全で安心な地域をつくる河川改修の推進に位置付けられている。					
情勢の変化及び長期継続の理由	当該区間は、住宅地を流れる河川であり、過去に洪水被害が発生していることから、地元からの改修要望が非常に高く早期完成が必要である。					
事業効率把握の手法及び効果	指 標 名	河川整備率				
	指 標 式	改修延長/要改修延長				
	指標の種類	○ 成果指標 ● 業績指標		低減指標の有無	○ 有 ● 無	
	目標値 a	44 %		データ等の出典	県河川砂防課調べ	
	実績値 b	44.4 %				
達成率 b/a	100.9 %		把握の時期	平成17年 3 月		

前回評価結果等	選定または継続 改善 見直し 保留または中止
	指摘事項
	特になし
	指摘事項への対応
	特になし

2. 所管課の自己評価

観 点	評 価 の 内 容 (特 記 事 項)	評 価 点
必 要 性	河川断面が狭小で、氾濫した場合の市街地の被害は甚大である。このため、早急に事業進捗を図る必要がある。	29点
緊 急 性	秋田県の重要水防区域内の河川であり、現況流下能力が低く、出水時に宅地・道路・田畑等に甚大な被害が発生する恐れがある。また、河川改修計画地の隣接地に平鹿総合病院が移設し、平成19年4月に開院予定となっているため、河川改修事業の早期完成が望まれる。	17点
有 効 性	(整備効果) 河川の拡幅・河道掘削及び遊水池の設置により流下能力を向上させ、流入支川の排水不良の解消、浸水被害の低減が図られる。	15点
効 率 性	(コスト縮減の取り組み状況) 護岸工の裏込採石、階段工の木材等のリサイクル材活用により縮減を図る。 (費用対効果) 事業のB/C 1.21であり経済的な妥当性は高い。	12点
熟 度	(地域の状況) 地元沿川自治会より河川改修事業に対して強い要望がある。 (事業進捗の見込み) 平鹿総合病院が平成19年4月に開院となるため、平成18年度までに洪水調節のための遊水池工の完成を図る。また、20年までに河川改修の完成を図る。 (環境対策) 市街地であり、平鹿総合病院が建設されるため、景観・親水に配慮した川づくりを行う。	15点
判 定	ランク () 地元からの要望が高く「重要性」「有効性」「効率性」等から事業の必要性は高く評価できるものとする。	88点
総 合 評 価	継続 改善して継続 見直し 中止 事業継続は妥当である。	

3. 評価結果の当該事業への反映状況等(対応方針)

引き続きコスト縮減に留意しながら、事業を継続する。

4. 公共事業評価専門委員会意見

県の総合評価を可とする。

評価種別 継続箇所評価
 適用基準名 小規模な河川改修事業

事業コード(H17-建-継-18)
 箇所名 (横手市前郷)

1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘要
必要性	過去の災害実績 浸水面積	6ha以上	20	20	
		5~1ha	10		
		1ha未満	5		
	重要な公共施設	2施設以上	5		
		1施設以下	3	3	
	事業の進捗状況 進捗率	計画より進捗している	5	3	
		概ね進捗(90~100%未満)	3		
		計画より遅れている	1		
	今後の進捗見込み	課題は解決済みで順調な進捗が見込まれる	5	3	
		将来的な課題はあるが当面進捗に影響はない	3		
課題は解決の見込みが無く事業が停滞する		1			
計			35	29	
緊急性	災害発生の危険度 改修目標流量に対する現況流下能力	40%未満	10	10	
		40~59%	7		
		60%以上	5		
	秋田県水防計画 重要水防区域	評定基準区分A	10	7	
		評定基準区分B	7		
計			20	17	
有効性	上位計画での位置づけ あきた21総合計画	施策目標の中核事業であり貢献度が高い	5	5	
		施策目標に間接的に貢献する	3		
		施策目標とは別のその他関連事業である	1		
	河川整備の有効性 安全度	災害防止等効果が発現する	7	7	
		災害防止効果は現状と変わらない	3		
	親水性	安全に川と親しむ場として利用が見込まれる	3	3	
親水性は現状と変わらない		2			
計			15	15	
効率性	事業実施コストの縮減 該当項目数	3項目以上	10	7	
		2項目	7		
		無しまたは1項目	3		
	当初計画との比較 当初計画事業費からの増減	減少または10%未満の増加	5	5	
		10%以上30%未満の増加	3		
計			15	12	
熟度	環境との調和への配慮事項 環境保全への配慮	十分配慮されている	5	5	
		配慮は不十分で検討している	3		
		特に配慮はない	0		
	地元との合意形成の状況 地域住民の事業実施の意向	意向が強く要件の同意をクリアしている	10	10	
		意向が強く要件の同意を概ね得ている	7		
計			15	15	
合計			100	88	

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
	優先度が高い	80点以上		
	優先度が低い	60点以上~80点未満		
	優先度が低い	60点未満		